

第13回日本プラグフェスト開催報告

第13回日本プラグフェストを開催いたしましたので報告いたします。

日本プラグフェストは、同一のインターフェース規格を使用するメーカー同士が、相互運用性を検証するための技術イベントです。今回は、国内メーカーだけでなく、世界的なシェアトップ3の中に入る海外メーカーが2社参加することとなり、国内だけでなく海外でも認知されているイベントとなっております。

今回は、高画質の映像にHDR (High Dynamic Range) 技術を搭載可能な最新鋭の機器が数多くエントリーされました。HDRや4Kといったようなプレミアムコンテンツを扱うには、機器間を暗号化認証することによって、コンテンツを保護する必要があります。次世代の高画質映像のユースケースを想定したハイレベルな接続検証を実施することができました。

● 会期・場所

会期：平成30年6月7日(木)～8日(金)

場所：京都教育文化センター

主催：一般社団法人組込みシステム技術協会(JASA)

● 目的・特徴

同一インターフェース規格(HDMI)を

持つ製品間の相互運用性を検証し、確実なものとする事で、不具合解消や品質の向上を目的としています。

参加メーカーは、ソース機器(1)、シンク機器(2)、リピータ機器(3)に分かれ、自社製品と他社製品との接続を行い、通信・映像・音声・暗号化検証において規格に準拠した通りの挙動となっているか、安定的な接続がなされているか等、細かく検証します。また日本プラグフェスト独自の試験項目を策定し実施することで、参加メーカー全体の品質向上を促しています。

● 参加メーカー・機種

・参加メーカー／18社 48名

・参加機種／[シンク機器]:7機種(TV、プロジェクタ等) [ソース機器]:11機種(BDレコーダ、ゲーム機、デジタルカメラ等) [リピータ機器]:6機種(AVアンプ、AVレシーバ等) [ケーブル]:2機種(ケーブル)

● 試験方法

▼ 個別試験

・各チーム3社の試験

・1スロット90分

▼ システム試験

・ソース・リピータ・ソース・ケーブルの複数チームと接続する試験

・日本プラグフェスト独自の試験を用い、一般家庭での複雑な機器の組み合わせを再現

・1スロット90分

● 参加者からのご意見・ご要望

・情報交換でき、大変良い場と思います。
・開発を行うに際し、非常に重要な場だと認知しております。

・新製品の出来を確認する大事な機会です。

以上のような声をはじめ、多数の貴重なご意見をいただきました。お寄せいただいた、試験方法、場所、試験時間等に関するご要望につきましては、今後も可能な限り対応します。

● 次回の予定

・日時／2018年11月29日(木)

～11月30日(金)

・場所／独立行政法人東京都立産業技術研究センター

・テスト規格／HDMI

・参加資格／HDMI搭載機器メーカー および、ケーブルメーカー

・参加料金／1名 21,600円(税込)

詳細につきましては、日本プラグフェストHP (<http://www.jasa.or.jp/TOP/pluginfest/top/>)にてお知らせいたします。

(1) デジタルコンテンツを出力する機器 (BDレコーダ、デジタルカメラ等) (2) デジタルコンテンツを受信し表示する機器 (TV、プロジェクタ等) (3) ソース機器とシンク機器間で、信号の再送信等を行う中継機 (AVアンプ等)

プライオリティの高さ

